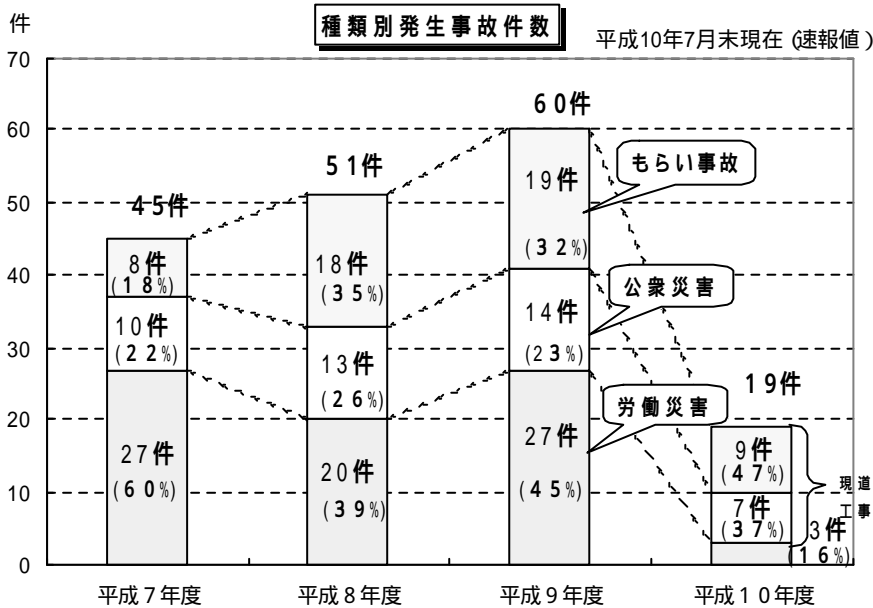
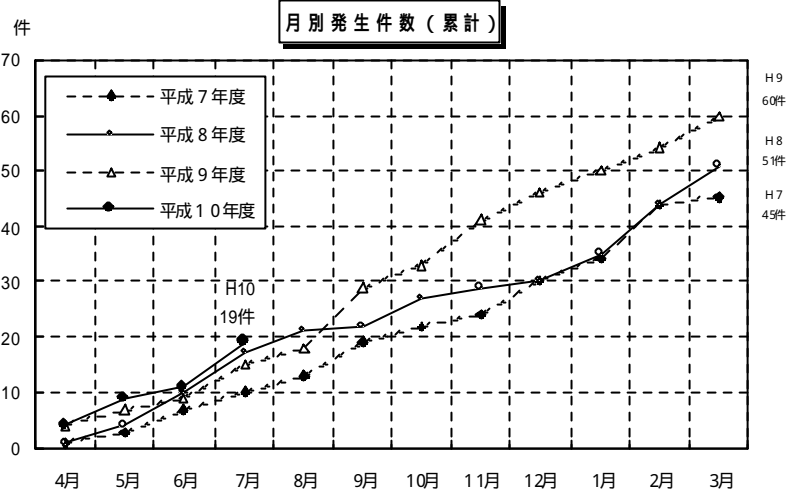


平成 1 0 年度近畿地建の請負工事関係事故の発生状況（中間報告）

7 月末 事故発生件数は近年では最悪！！

平成 1 0 年度の近畿地建管内における直轄請負工事関係事故の発生状況は、右図の通り、7 月 3 1 日現在で 1 9 件発生しています。発生件数は、前年同期の 1 5 件を 4 件上回っており、平成 6 年度以降の同時期では最悪の発生件数となっています。

今年度の発生事故を種類別にみると、第三者に起因して工事関係者が被災するもらい事故が 1 9 件中 9 件と全体の 5 割近くを占めています。（下図参照）



現道上の工事事故多発！！

また、平成 1 0 年度の特徴としては、道路維持作業や道路舗装工事等の現道上の工事で発生した事故が 1 9 件中 1 6 件と非常に多く、その全てがもらい事故及び、公衆災害事故となっています。

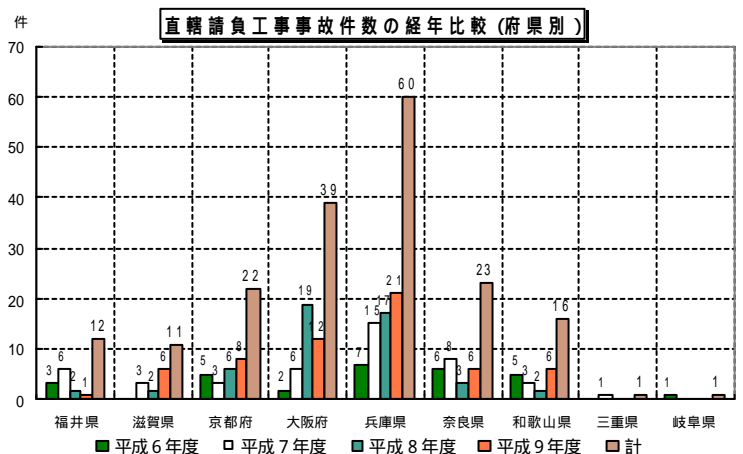
もらい事故は、第三者に起因して発生する事故ですが、工事施工側における交通規制等の看板類の設置方法あるいは、交通整理の誘導方法などを改善すれ

ば防ぐことが出来たと思われる事故や、被災程度を軽減できたと考えられる事故が発生しています。

もらい事故だからやむを得ないというのではなく、第三者の注意喚起をうながすような安全に配慮した施工を行うことが必要です。

【参考資料】

平成 6 年度から平成 9 年度における近畿地建管内の府県別発生事故件数は、兵庫県がもっとも多くなっています。（右図参照）



7月の事故情報（今年度初の死亡事故発生！）

発生日	発生場所	事故の状況
7月 1日	大阪府	<p>舗装修繕工事において、片側交互通行規制により作業中、走行中してきた一般車輦に、交通整理員が赤色灯により停止合図を出したが、一般車輦が合図を無視して進入し、規制内に配置していた規制車の右側後部に追突した。</p> <p>なお、交通整理員は直前に歩道側へ回避し無事であった。</p> <p>〔 物 損 〕</p>
7月 6日	滋賀県	<p>道路拡幅舗装工事において、走行してきた一般車輦が路肩に逸脱して、セーフティーコーン・チューブライト等保安施設をなぎ倒して工事中の土留矢板に接触して止まった。</p> <p>〔 物 損 〕</p>
7月 9日	奈良県	<p>舗装修繕工事において、片側交互通行規制をして作業中、一般車輦が交通整理員の停止合図を振り切り、信号を無視して交差点内に進入したため、交差点内に配置されていた交通整理員が停止させようとしたが、一般車輦が猛スピードで走行してきたため危険を感じて逃げたところ、急ブレーキをかけた一般車輦が逃げた交通整理員へスリップしながら接触し、交通整理員が負傷した。</p> <p>〔 頸椎捻挫、腰椎捻挫、右足膝打撲 全治10日間 〕</p>
7月 9日	奈良県	<p>路面維持作業において、作業を終了して交通規制の解除中、非常駐車帯に残った2枚の矢印板を回収するため、規制作業車が路肩を後進し非常駐車帯に入ろうとしたところ、走行車線を走行中の一般車輦（10t貨物車）が接触し、規制作業車の右側部が損傷した。</p> <p>〔 物 損 〕</p>
7月11日	兵庫県	<p>道路整備工事において、ダンプトラックによりアスファルトガラを処分地へ搬送中、前走の一般車輦が右折するために減速中、後続のダンプトラック運転手が気付くのが遅れ、追突を避けるためブレーキを踏んだが、降雨により路面が濡れていたためスリップし対向車線にはみ出して停止したことから、対向車線を走行中の一般車輦が衝突し、一般車輦に乗車の2名が負傷した。</p> <p>〔 右膝解放骨折、右股関節脱臼骨折等 全治 5ヶ月 〕 〔 胸骨挫傷、右肋骨挫傷等 全治10日間 〕</p>
7月11日	奈良県	<p>舗装修繕工事において、第三者運転の二輪車（単車）が、歩道乗入れ部のすりつけ舗装と街渠との間に段差が生じていたため、ハンドルを取られ転倒し、負傷した。</p> <p>〔 足の擦傷 〕</p>
7月16日	滋賀県	<p>道路拡幅舗装工事において、工事の資材を荷降しするために片側交互通行で作業を行っていたところ、下り車線を走行してきた一般車輦が、停車から発進した車輦の流れより遅れて進入し、上り車線側の車輦誘導を行っていた交通整理員を跳ね、交通整理員は約2.5m跳ね飛ばされ頭部を強打し、意識不明の重体のまま4日後に死亡した。</p> <p>〔 死 亡 〕</p>
7月22日	和歌山県	<p>道路清掃作業において、散水車と路面清掃車により中央分離帯側のゼブラゾーンを散水清掃中、走行中の一般車輦が散水車に追突し、散水車後部が損傷し、一般車輦運転手が負傷した。</p> <p>〔 物 損 〕</p>